

# アクアシージェイ

特殊膨張遅延処理タイプ  
(CJTAタイプ)  
コンクリート打継目用止水材

建設構築物の分野では、地下空間利用の需要が増加しており、特に地下構築物でのコンクリート打継部分の止水に対しては、特に高い性能が要望され、ますます多様化の傾向があります。

タキロンシーアイでは、長年に渡る水膨張性止水材の経験を生かし、**特殊膨張遅延処理**を施し、かつ当社独自の発想による特殊な形状を複合加硫成形された画期的な止水材「ビノンハイドロタイト・アクアシージェイ」シリーズを開発しました。



## 形状一覧表

品番	断面形状・寸法 (mm)	1箱の入数
CJTA-0725-3K	25	10m 巻 × 4
CJTA-1020-2K	20 10	10m 巻 × 5
CJTA-2020-M	20 20	10m 巻 × 3
CJTA-3030-M	30 30	10m 巻 × 1

■ : 水膨張性ゴム部 ■ : 非膨張性ゴム部

## アクアシージェイ (特殊膨張遅延処理タイプ) の特長

1. アクアシージェイは、コンクリート打継目への浸入水に対し、吸水し自己膨張することで打継目の変動により発生した空隙にも追従し止水効果を発揮します。
2. アクアシージェイは、一時的に雨水、地下水等に接触しても、斑点状の部分的膨張程度で、後行コンクリート打設前のシール材の蛇行を抑えます。
3. アクアシージェイ (CJTA) は、特殊膨張遅延処理によりコンクリート打設後、コンクリート中のアルカリ水と反応後に膨張を開始し、止水性能を発揮します。
4. アクアシージェイに中空部を配置することにより、コンクリート打設初期過程でのクラックを防止することができます。

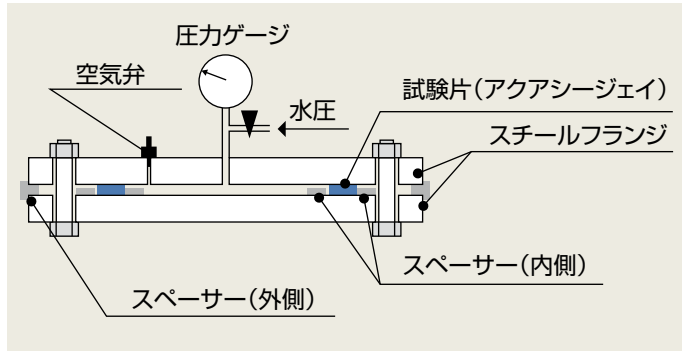
## 特殊膨張遅延処理タイプ

従来の水膨張性止水材は、浸入水に対して吸水体積膨張し止水効果を発揮します。しかし、止水材貼付後、後行コンクリート打設前に雨水・地下水・降雪等により膨張を開始し、コンクリート打設後に十分な性能を発揮出来ない場合があります。そこで当社独自の研究による**特殊膨張遅延処理**を施す事により、雨水・地下水等による膨張を抑制し、後行コンクリート中のアルカリ水と反応後に膨張する処理を施した止水材を開発しました。

## アクアシージェイ (特殊膨張遅延処理) タイプの基本物性

項目	水膨張性 ゴム部	非膨張性 ゴム部	試験方法	
	参考値	参考値		
硬 さ	A45±5	A50±5	JIS K 6253に準じる	
引張強さ	MPa	3.9以上	8.8以上	JIS K 6251に準じる
伸 び	%	600以上	400以上	JIS K 6251に準じる
体積膨張加率	%	100以上	—	社内試験法

## ■止水特性



1. 所定の長さに切断した試験片を、鋼製の下フランジに専用接着剤を用い貼付し、無水で1日養生する。
2. 試験片と同じ厚さのスペーサーを試験片の外側と内側に設置する。
3. 上フランジを被せ、ボルトで固定し、24時間通水させる。
4. 通水終了後、エア抜きを十分におこない、試験内部を0.10MPaまで加圧し漏水の有無を確認する。止水確認後は、0.10MPaずつ加圧し、最大0.30MPaまでの止水性能を確認する。なお、加圧保持確認時間は5分とする。

## 試験結果

試験水圧	
0.10MPa	0.30MPa
○ (給水養生後)	○ (給水養生後)

※スペーサー(外側)厚さ = 試験片(アクアシージェイ)厚さ > スペーサー(内側)厚さ  
 ※止水が確認された場合を○、止水出来なかった場合を×と判定します  
 ※記載データについては、製品の性質を絶対的に保証するものではありません。

## ■耐薬品性能

7日間各溶液中に浸漬した試料と、真水に浸漬した試料との物性について比較しました。

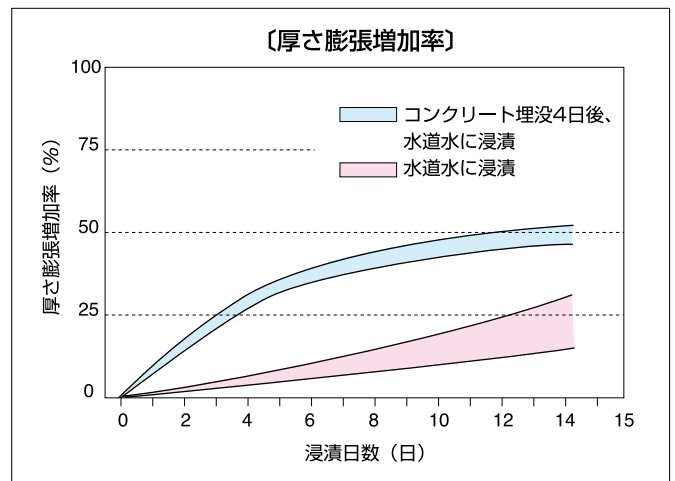
各薬品がアクアシージェイの膨張に影響を与えられるか、否かを調べる目的で、各溶液に浸漬した試料を再度7日間真水に浸漬し、膨張倍率を測定しました。

物性の保持率および膨張倍率の保持率については90%以上を○とし、70~90%を△、70%以下を×としまとめました。

### アクアシージェイ水膨張ゴム部の耐薬品性

浸漬溶液	各溶液中に7日間浸漬した後の物性変化		溶液浸漬後再度水に7日間浸漬したのちの膨張性能の保持率
	引張強さの保持率	伸びの保持率	
pH9の水溶液	○	○	○
pH11の水溶液	○	○	○
含鉄分水溶液	○	○	○
ベントナイトの水溶液	○	○	○
グラウト剤の水溶液	○	○	○

## ■膨張特性



※記載データについては、製品の性質を絶対的に保証するものではありません。



## リークマスター（水膨張性一液型シーリング材）

### ■リークマスターについて

「リークマスター LV-Z」は作業性に優れた、画期的で高性能な一液型水膨張性シーリング材です。コンクリートへの接着性に優れているため、コンクリート下地の不陸調整として使用できます。従来の定型品では比較的困難であった土木・建築・給水設備等のコーナー部やジョイント部分などの止水作業性を容易にします。硬化後の性能はゴム弾性に富み、さらに自己吸水膨張により止水効果を発揮します。

### ■一般性能（参考値）

外観	灰色ペースト状
押出性	20 秒以内
スランプ (25℃)	10mm 以内
タックフリー	8 時間以内
体積変化率 (蒸留水)	85 ~ 200%

試験方法：社内試験方法に準じる。

### ■リークマスターの特徴

- 作業性** 湿気硬化型一液弾性シーリング材ですので従来のシーリング材と同様に市販のコーキングガンで作業出来ます。
- 物性** 硬化後の性能は従来のシーリング材を凌ぐ物性値を示します。
- 水膨張性** 吸水・膨張機能により、約二倍の体積膨張をし、止水性能を発揮します。ゴム弾性を失うこともありません。

※主成分はウレタン系樹脂です。

※外壁等の外目地部分には使用できません。

※使用有効期限は製造後 6ヶ月です。

### ■梱包形態



※内容量：320ml/本（6本×4箱）

### ■施工上の注意点■

1. 先行コンクリートの型枠設置時に、後行コンクリートと打継目側に当たる型枠部及び妻板部にアクアシージェイ取付用の溝抜き型を取付けて置くのが理想です。
2. 先行コンクリートの型枠脱枠後、アクアシージェイ取付部を平滑に仕上げ、付着しているレイタンス及び泥等をワイヤーブラシ、ヘラ等で除去します。
3. 先行コンクリート取付部（乾燥面）にリークマスターを均一に塗布し、アクアシージェイを貼付します。
4. 後行コンクリート打設時に、アクアシージェイが剥離する危険性がある場合及び垂直目地部への施工がある場合、30～50cmピッチのコンクリート釘にてアクアシージェイを固定します。
5. アクアシージェイの接続方法は突合わせの方法を用います。突合わせ部の処理は、瞬間接着剤、クロロブレン系接着剤による接着、もしくはリークマスターの塗布により、必ず隙間をなくしてください。
6. アクアシージェイを打継面に貼付する前は、雨水等にさらさないでください。コンクリート打継面に貼り付けた後も極力雨水・湧水等を避ける処理をしてください。
7. **コンクリート端部より最低10cm以上離して使用してください。**
8. アクアシージェイの端部が後行コンクリート打設面に露出する場合は、中空部にコンクリート、コンクリートミルクが入らないように、弾性エポキシで覆ってください。

注)被着面が、乾燥面か湿潤面かにより接着剤を使い分ける場合があります。

#### ① 乾燥面の場合

リークマスターもしくはエポキシ系混合接着剤(ボンド E-380)を使用してください。

#### ② 湿潤面の場合

エポキシ系混合接着剤(ボンド E-380)の使用を推奨します。

※ボンド E-380は二液型の為、よく混練して使用してください。

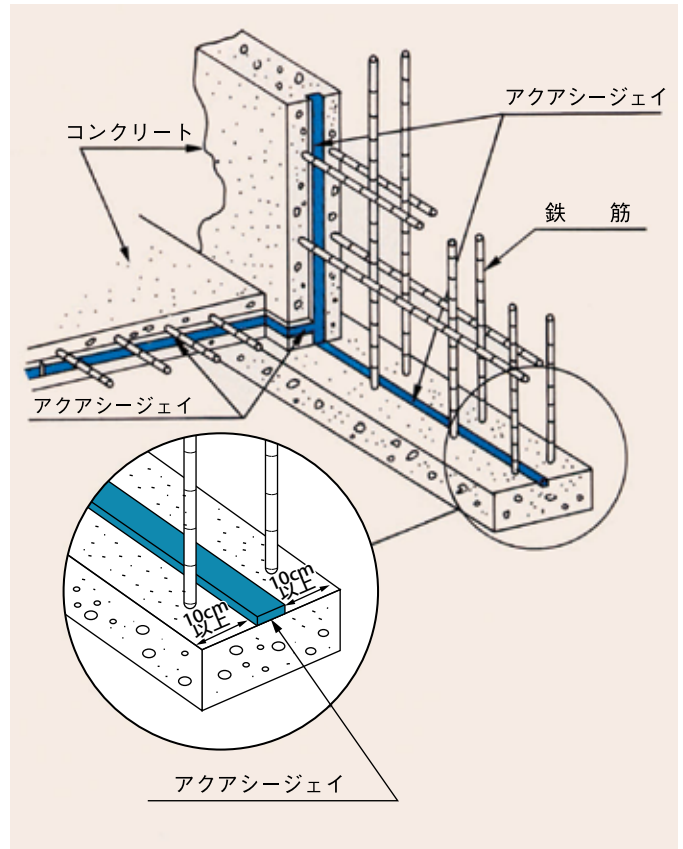
## ■接着剤の選定

接着剤	乾燥面		湿潤面	
	凸凹	平ら	凸凹	平ら
一液湿気硬化シーリング材 (リークマスター)	○	○	×	×
エポキシ系混合接着剤 (ボンド E-380)	○	○	○	○

### 注意点

1. 冠水している場合の施工は避け、必ず排水後、清掃の上施工して下さい。
2. 止水材端部と直接部を固定し、直接部は 30cm ~ 50cm 毎にコンクリート釘に固定後、接着剤と併用して下さい。
3. ○印は適合、×印は使用を避けて下さい。
4. アクアシージェイを打継面に貼付する前は、雨水等にさらさないで下さい。コンクリート打継面に貼り付けた後も極力雨水・湧水等を避ける処理をして下さい。

## ■鉄筋コンクリート構造物での使用例



### 保管上の注意事項

- ① **アクアシージェイ** は、絶対水（雨水等）に濡れないように注意してください。
- ② **アクアシージェイ** は、直射日光を避け冷暗所に保管してください。
- ③ 段ボール箱は高く積まず荷崩れが起きないようにしてください。

### その他の注意事項

- ① 本商品は、土木建築分野に使用する材料であるため、他の用途には使用しないでください。
- ② 各製品のご使用に際して、不明な点は必ず弊社営業部迄お問い合わせの上で使用してください。
- ③ 本商品の誤ったご使用による傷害・損害については責任を負えません。
- ④ 誤って食べたり、目に入った場合には、すぐに吐き出すか洗浄して病院で手当てを受けてください。
- ⑤ ご使用後の切り屑等の廃棄物は、産業廃棄物業者に委託して廃棄をしてください。

販売元

 **タキロンシーアイシビル株式会社**

札幌インフラ営業グループ TEL 011-221-3053 大阪インフラ営業グループ TEL 06-6453-9285  
 仙台インフラ営業グループ TEL 022-223-0761 広島インフラ営業グループ TEL 082-244-2600  
 東京インフラ営業グループ TEL 03-6665-8252 福岡インフラ営業グループ TEL 092-475-1350  
 名古屋インフラ営業グループ TEL 052-933-7575 設計・施工統括部 TEL 03-6665-8271

製造元

 **タキロンシーアイ株式会社**

インフラ業務グループ  
 〒108-0073 東京都港区三田 3 丁目 5 番 19 号  
 住友不動産東京三田ガーデンタワー 28 階  
 TEL 03-6435-1832

ご注意 ・ 誤った使用方法や本来の目的以外での使用は避けて下さい。  
 ・ ご使用に際して不明な点がありましたら弊社営業部までお問い合わせ下さい。  
 ・ このカタログに記載されている寸法、仕様等は製品改良のため予告なく変更する場合があります。  
 ・ このカタログに記載されている数値は、参考値であり、製品の保証値ではありません。